

いこい

通所リハビリテーションセンター

発足!



第46号

いこい
コミュニティ

キャッチフレーズ 「元気で長生き」

施設長 石橋久夫

依田窪老人保健施設が提供するサービスのひとつである、通所リハビリテーションについて、平成29年度より「いこい通所リハビリテーションセンター」と名称をつけ、よりリハビリに特化したサービスを提供する施設として再生を図ります。

在宅生活を続けながら、いこい通所リハビリセンターで効果的にリハビリを受けて元気になるしましょう。皆様のご利用をお待ちしております。

平成29年4月
発行: 依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL: 0268-68-0281
FAX: 0268-68-0283

いこい通所リハビリテーションセンターの特徴

1

医学的管理のもとでリハビリが受けられます。

施設に通って日中を過ごすサービスとして、デイケア(通所リハビリ)と、デイサービス(通所介護)があります。名前が似ているため混同されがちですが、通所リハビリは、医学的管理のもと、リハビリを中心とした機能回復・維持を目的としたサービスを提供するサービスです。

また、長和町や、上田市武石地域と立科町には、通所リハビリサービスを提供する施設はいこいだけです。在宅生活を継続しながらリハビリを希望される方は、ぜひリハビリセンターをご利用ください。

2

要支援1, 2の方の利用も可能です。

介護保険制度改正で、要支援1と2の方は、デイケアの利用ができなくなりましたが、通所リハビリは引き続き利用することができます。介護度の軽い段階からリハビリを受けることは、在宅生活を長く継続するために有用と考えます。要支援の皆様のご利用もお待ちしております。



やってみたいこと、あきらめたくないことはありませんか。通所リハビリセンターでは、皆様の希望や目標に寄り添い、実現するお手伝いをさせていただきます。

ぜひ一度体験にお越しください。元気な職員が笑顔でお持ちしています。

主任理学療法士 佐藤里美

3

多職種が協働してサービスを提供します。

リハビリセンターでは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護員、管理栄養士が、協働して、一人ひとりのご利用者に適したサービスを提供します。



介護員は、作業療法士が一人ひとりの目標に沿って選定した創作活動(切り絵・ちぎり絵・編み物・裁縫・脳トレ等)のお手伝いや、集団体操やマシーンを使ったリハビリを一緒に行います。利用時間内全てがリハビリにつながるサービスとなっております。多くの皆様のご利用をお待ちしております。

主任介護員 小林幸代

リハビリメニューの充実

理学療法士4名、作業療法士3名とリハビリ専門職員が充実しています。そのリハビリ専門職員が、医師の指示に基づきご利用者一人ひとりの状態や目標に応じたリハビリを提供します。



1対1の個別リハビリ



マシーンを使ったリハビリ



学習療法



歩行訓練



リハビリ体操



塗り絵

在宅生活を継続するためのご利用者一人ひとりの目標達成に向けて、様々な個別のプログラムを提供します。

いつでも見学にお越しください。

ご利用に当ってのお問い合わせ、お申し込みは、通所リハビリセンター、または担当のケアマネージャーさんにお願ひします。(いこい通所いこいリハビリテーションセンター 電話：68-0281)

★ 編集後記 ★
今月号は、通所リハビリテーションセンターについてお知らせをしました。
提供する全てのサービスをリハビリと捉え「いこいに行けば元気になる。」そんな評価が得られるよう努めてまいります。大勢の皆様のご利用をお待ちしています。

(編集委員)

○ 長和町和田 佐藤守男 様
次の方よりご寄付をいただきました。略儀ながら紙上をもちまして、厚くお礼申し上げます。

ご寄付 お礼

平成 29 年度予算概要

単位(万円)

歳入総額	48,620
施設サービス料収益	19,026
居宅サービス料収益	16,402
食費・居住費収益	6,005
市町分担金	6,252
繰入金	800
その他	135
歳出総額	48,620
給与費	30,692
材料費	3,581
経費	6,946
委託金	1,025
償還金	6,252
その他	124

平成29年度の予算は、4億8千620万円になりました。
3月17日、依田窪医療福祉事務組合議会3月定例会が開かれました。
老健いこいの関係では、平成29年度特別会計予算案や、平成28年度補正予算案が審議され可決されました。
平成29年度予算は、通所リハビリセンター開設に伴うリハビリ機器の購入等により、対前年度4.4%、2千40万円の増となりました。